

大津小学校校舎屋根外壁改修工事 (機械設備)

| 図 面 リ ス ト | |
|-----------|--------------------|
| 図面番号 | 図 面 名 称 |
| M-00 | 表紙・図面リスト |
| M-01 | 機械設備工事特記仕様書(その1) |
| M-02 | 機械設備工事特記仕様書(その2) |
| M-03 | 空調設備 改修 1階平面図 |
| M-04 | 空調設備 改修 2階平面図 |
| M-05 | 空調設備 改修 3階平面図 |
| M-06 | 空調設備 既存 1階平面図 |
| M-07 | 空調設備 既存 2階平面図 |
| M-08 | 空調設備 既存 3階平面図 |
| M-09 | 空調給排水設備 改修前後 2階詳細図 |

令和 6 年度
株式会社 マック

熊本市機械設備工事特記仕様書

工事概要

| | | | | | |
|---|------|----------------------|--|-----|--|
| 1 | 工事名称 | 大津町立大津小学校校舎屋根外壁等改修工事 | | | |
| 2 | 工事場所 | 大津町引水210番地 | | 地 内 | |
| 3 | 建物概要 | | | | |

| | 建 物 名 称 | 構 造 | 階 数 | 延面積 (㎡) | 消防法施行令別表第1区分 | 備 考 |
|---|---------|-------------|-----|---------|--------------|-----|
| 1 | 校舎 | RC造 一部S造 | 3 | 5,740 | 7項 | 改修 |
| 2 | プール付廊棟 | CB造 | 1 | 107 | 7項 | 改修 |
| 3 | 便所 | S造 | 1 | 10 | 7項 | 改修 |
| 4 | | | | | | |

建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (m/sec)
建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ()

地表面粗度区分 , , , ,

4 工事項目 (電気設備工事) 印を付したもの

| 建物名 | | | | | | | 屋 外 | |
|----------------|---|---|---|---|--|--|-----|--|
| 工事項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| 1 電灯・コンセント設備 | | | | | | | | |
| 2 幹線・動力設備 | | | | | | | | |
| 3 電熱設備 | | | | | | | | |
| 4 蓄熱設備 | | | | | | | | |
| 5 変電設備 | | | | | | | | |
| 6 電力貯蔵設備 | | | | | | | | |
| 7 充電設備 | | | | | | | | |
| 8 構内情報通信網設備 | | | | | | | | |
| 9 電話・構内交換設備 | | | | | | | | |
| 10 情報表示設備 | | | | | | | | |
| 11 映像・音響設備 | | | | | | | | |
| 12 拡声設備 | | | | | | | | |
| 13 誘導支援設備 | | | | | | | | |
| 14 呼出設備 | | | | | | | | |
| 15 テレビ共同受信設備 | | | | | | | | |
| 16 テレビ電波障害防除設備 | | | | | | | | |
| 17 監視カメラ設備 | | | | | | | | |
| 18 入退室管理設備 | | | | | | | | |
| 19 自動火災報知設備 | | | | | | | | |
| 20 自動閉鎖・非常警報設備 | | | | | | | | |
| 21 中央監視制御設備 | | | | | | | | |
| 22 防犯設備 | | | | | | | | |
| 23 電気時計設備 | | | | | | | | |
| 24 外灯設備 | | | | | | | | |
| 25 構内配電線路 | | | | | | | | |
| 26 構内弱電線路 | | | | | | | | |
| 27 撤去工事 | | | | | | | | |

5 工事項目 (機械設備工事) 印を付したもの

| 建物種別及び屋外 | | | | | | | 屋 外 | |
|----------|---|---|---|---|--|--|-----|--|
| 工事項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| 1 空気調和設備 | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 2 換気設備 | | | | | | | | |
| 3 排煙設備 | | | | | | | | |
| 4 自動制御設備 | | | | | | | | |
| 5 衛生器具設備 | | | | | | | | |
| 6 給水設備 | | ○ | | | | | | |
| 7 排水設備 | | ○ | | | | | | |
| 8 給湯設備 | | | | | | | | |
| 9 消火設備 | | | | | | | | |
| 10 厨房設備 | | | | | | | | |
| 11 ガス設備 | | | | | | | | |
| 12 浄化槽設備 | | | | | | | | |
| 13 昇降機設備 | | | | | | | | |
| 14 撤去工事 | ○ | ○ | ○ | | | | | |

6 設備概要 (機械設備工事)

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない 印を付けたものが該当項目となる)

| | | | |
|---------|---|------------------------------|--------------------------------------|
| 空気調和方式 | ・ ダクト方式 (・ 中央 ・ 各階ユニット) ・ FCU方式 ・ FCU+ダクト併用方式 | ○パッケージ方式 | |
| 主要熱源機器 | ○空気熱源ヒートポンプユニット ・ パッケージ型空気調和機 | ・ 吸収冷凍水機 ・ マルチパッケージ型空気調和機 | ・ 吸収冷凍水機ユニット ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機 |
| 換 気 設 備 | 機械換気 (・ 有 ・ 無) | | |
| 排 煙 設 備 | 機械排煙 (・ 有 ・ 無) | | |
| 自動制御設備 | ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 | | |
| 給 水 設 備 | ・ 水道直結方式 ・ 高圧タンク方式 (・ 上水 ・ 井水 ・ 中水) ・ ポンプ直送方式 (・ 上水 ・ 井水 ・ 中水) ・ 増圧ポンプ方式 | | |
| 排 水 設 備 | 建物内の汚水と雑排水 (・ 分流 ・ 合流) ポンプ排水 (・ 有 (・ 湧水 ・ 雨水 ・ 雑排水 ・ 汚水) ・ 無) 汚水放流先 (・ 公共下水道 ・ し尿浄化槽) 雑排水放流先 (・ 公共下水道 ・ し尿浄化槽) | | |
| 消 火 設 備 | ・ 屋内消火栓 (・ 易操作性1号 ・ 2号) ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水 ・ 連結散水 ・ 泡消火 ・ スプリンクラー ・ ハロゲン化物消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 新ガス系消火 ・ フード専用簡易自動消火 | | |
| ガ ス 設 備 | ・ 都市ガス (供給業者名) 種別 ・ 液化石油ガス | 発熱量 MJ/m ³) | |

注意事項

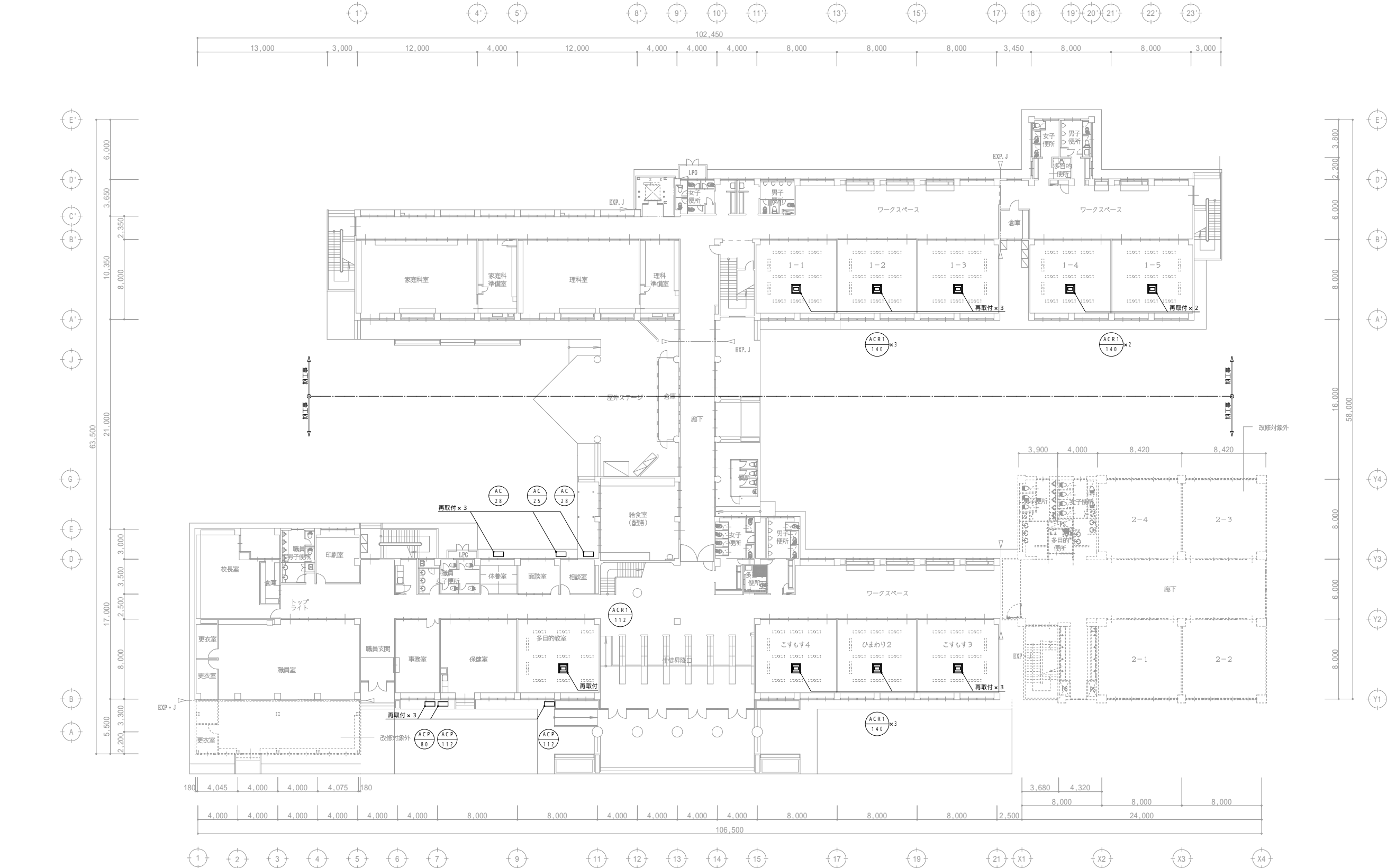
工事用資・機材、建設副産物等の過渡期をしないこと。
過渡期を行っていない資材納入業者から、資材を購入しないこと。
資材等の過渡期を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。
さし物の装電又は物品損壊致害の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。
「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を
随時、関係団体への

[illegible]

| | | | |
|-------------|--------------------|--|---------|
| 各章共通事項 | 4 技術士 | 適用工事種別 () 内は、適用期間 ・ 鉄筋工事 1級鉄筋施工技術士 ・ コンクリート工事 1級左官技術士・1級型枠施工技術士・1級コンクリート圧送施工技術士 ・ 鉄骨工事 1級とび技術士 ・ ブロック及びALC/パネル工事 1級ブロック建築技術士 ・ 防水工事 1級防水施工技術士 (作業) ・ 石工事 1級石材施工技術士 ・ タイル工事 1級タイル張り技術士 ・ 木工事 1級建築大工技術士 ・ 屋根及びとい工事 1級屋根板金技術士 (内外装板金作業) ・ 瓦葺き技術士 () ・ 金屋工事 1級内装仕上り施工技術士 (網張地下工事作業) ・ 建築板金 (内外装板金作業) ・ 左官工事 1級左官技術士 ・ 障子工事 1級サッシ施工技術士 ・ 1級ガラス施工技術士 ・ 塗装工事 1級塗装技術士 (作業) ・ 内装工事 1級内装仕上り施工技術士 (作業) (作業) () ・ 建築工事 1級建築技術士 ・ 設備工事 1級配管技術士 ・ 1級冷凍空調機器施工技術士 1級熱絶縁施工技術士 ・ 1級建築板金技術士 (ダクト板金作業) 技術士は、資格を証明する資料を監督員に提出すること。 | (1.5.2) |
| | 15 特別な材料の工法 | 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 | |
| | ①6 建設工事使用機械等 | 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。 | |
| | 17 設計GL | 図示による。 ・ 現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による。 | |
| | ①8 既存部分等への処置 | 工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。 | |
| 2 | ①9 他工事との取合い | 施工範囲 別表 - 1 による。 施工工 設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けると。 | |
| | ②0 建築材料 設備機器等 | ホルムアルデヒド放散量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。 F () | |
| | ②1 化学物質の濃度測定 | ・ 行う。 ○ 行わない。 厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名 : () 測定法 ・ アクティブ型 ・ パッシブ型 ・ その他 (1.5.10) | |
| | 22 工事写真等 | 撮影箇所及び撮影方法は、「熊本県建築工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成写真用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下記箇所の撮影とする。 ・ 監督員の承諾を受けた写真専門業者 監督員の承諾を受けた撮影業者 | |
| | 23 完成図 | 貸与した原図(電子データを含む)に変更内容を加筆訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。 (1.7.1 1.7.2) また、施設引渡し品がある場合、その受領書(写)を監督員に提出すること。 工事完成図 (2つ折製本(A4)1部、2つ折製本(原図)1部、A4版折込製本(原図)4部) 試験成績表、保証書、取扱説明書等 電子データについては、熊本県電子納品適用ガイドラインの仕様により作成し、納品を行うこと。 | |
| 3 | 24 施工図 | 熊本県電子納品適用ガイドラインの仕様により作成し、納品するものとする。 当該建築物の取得する施工図等の著作権に係わる使用権は、当該建築物に限り発注者に譲渡する。 | |
| | 25 保全に関する資料 | 提出する。 ・ 提出しない。 提出部数 2部 ・ ()部 (1.7.1 1.7.3) | |
| | 26 保険等 | 熊本県公共工事請負契約款第57条第1項により、次の保険等(その他これに準ずるものを含む)に付さなければならない。 (1) 保険の種類 ・ 火災保険又は建設工事保険 組立保険 (請負業者損害賠償責任担保特約付き) (2) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)(損害賠償等特約、地震や水災といった天災における補償を含む) (3) 保険の加入期間 工事着手後(原則とする)速やかに加入し、工期末より30日間以上 ・ その他 () (4) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額 ・ その他 () | |
| | 27 安全施工実施対策 | 建築工事安全施工技術指針にしたがい、工事の安全確保に努めるとともに、安全・健康等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。 | |
| | ②8 官公庁への 照会手続き等 | 関係官庁、電力会社等への手続は、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記ある事項は別途とする。 (1.1.3) | |
| 土 工 事 | ②9 石綿(アスベスト) | 工事開始前に労働基準監督署と自治体(自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの)に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行うこと。 事前調査結果については、石綿事前調査結果報告システム(https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp)へ登録すること。 また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、県監督員と協議のうえ決定すること。 | |
| | 30 保証 | 機密等の保証は竣工日の翌日から5年とする | |
| | ① 既存部分の養生 | 養生方法 ビニールシート等による。 ・ () 固定された増品、机、ロッカー等の移動 行わない。 ・ 行う (図示による) 既存家具等の養生 ・ ビニールシート等による。 ・ () | |
| | ② 監督員事務所 | ・ 設ける 設けない 面積規模 () m ² 程度 増品については、監督員の指示による。 (2.3.1) | |
| | ③ 工事用水 | 構内既存の施設 利用できる(有償・無償) ・ 利用できない | |
| 土 工 事 | ④ 工事用電力 | 構内既存の施設 ・ 利用できる(有償・無償) 利用できない | |
| | 5 外部足場 | 枠組本足場 ・ その他() | |
| | 6 手すり先行足場 | 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第1226号第2号令和5年12月16日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心できる足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び欄干の備備を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 | |
| | 7 快適トイレについて | 「熊本県土木部建築住宅局建設現場における快適トイレ等設置要領」による。 | |
| 土 工 事 | 1 埋戻し及び盛土 | 種別 ・ A種 B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) | |
| | 2 建設発生土の処理 | 構外指示の場所 受け入れ場所 () 受け入れ場所での処理 (・ 置きならし たい積) 搬出距離 () km (3.2.5) 上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する 宅地造成及び特定盛土等規制法その他関係法令等に基づき適切に処理のうえ、監督員に報告すること。 ・ 構内指示の場所 (・ 置きならし ・ たい積) | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | | | |
|-----------------------|-----|---------------|-------------------------------------|------|----------------------|--------------|
| 機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 | 大津町 | 建 築 士 事 務 所 名 | 1建築士事務所 熊本県知事登録第 1889 号 株式会社 マック | 工事名称 | 大津町立大津小学校校舎屋根外壁等改修工事 | |
| | | 設 計 者 氏 名 | 1級建築士 大臣登録第 第 344205 号 松本 義勝 印 | 図面名称 | 機械設備工事特記仕様書 (その1) | 図面番号 M-01 |

[illegible]



| 記号凡例 | |
|-----------|--|
| A C R 1 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室内機(天吊自在形) |
| A C R 2 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室内機 (天井埋込カセット形4方向吹出) |
| A C P | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室外機 |
| A C | 空冷ヒートポンプルームエアコン室外機 |
| 数字は、能力を示す | |

| 屋内部配管改修凡例 | |
|-----------|-------------------------------------|
| | 冷媒管盛替: 9.5 / 15.9 (新設2.0m/撤去3.5m程度) |
| | ドレン管盛替: 25VP(新設2.0m/撤去3.5m程度) |
| | 保温仕様: GW120/ALGC |

既存配管切断接続共
室内外連絡配線及びリモコン配線は既存利用とし、
繋ぎ変えを行うこと

改修概要
・外壁、天井改修及び照明LED化に伴う空調機の
取外し再取付及び移設を行う。
・上記に伴う配管類の取外し再取付及び盛替えを行う。
・機器の取外し再取付を行う際は冷媒ガスのボンパダウン
及び再充填を行うこと
(空調機移設時と室外機取外し再取付時の2回ずつ)

1階平面図 1/200

Matsumoto
Architecture
Corporation

Office
株式会社 マック
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号
Architect
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号
松本 義勝

Architect
Architect

Date
R6.11

Project

大津町立大津小学校校舎屋根外壁等改修工事

Drawing Title

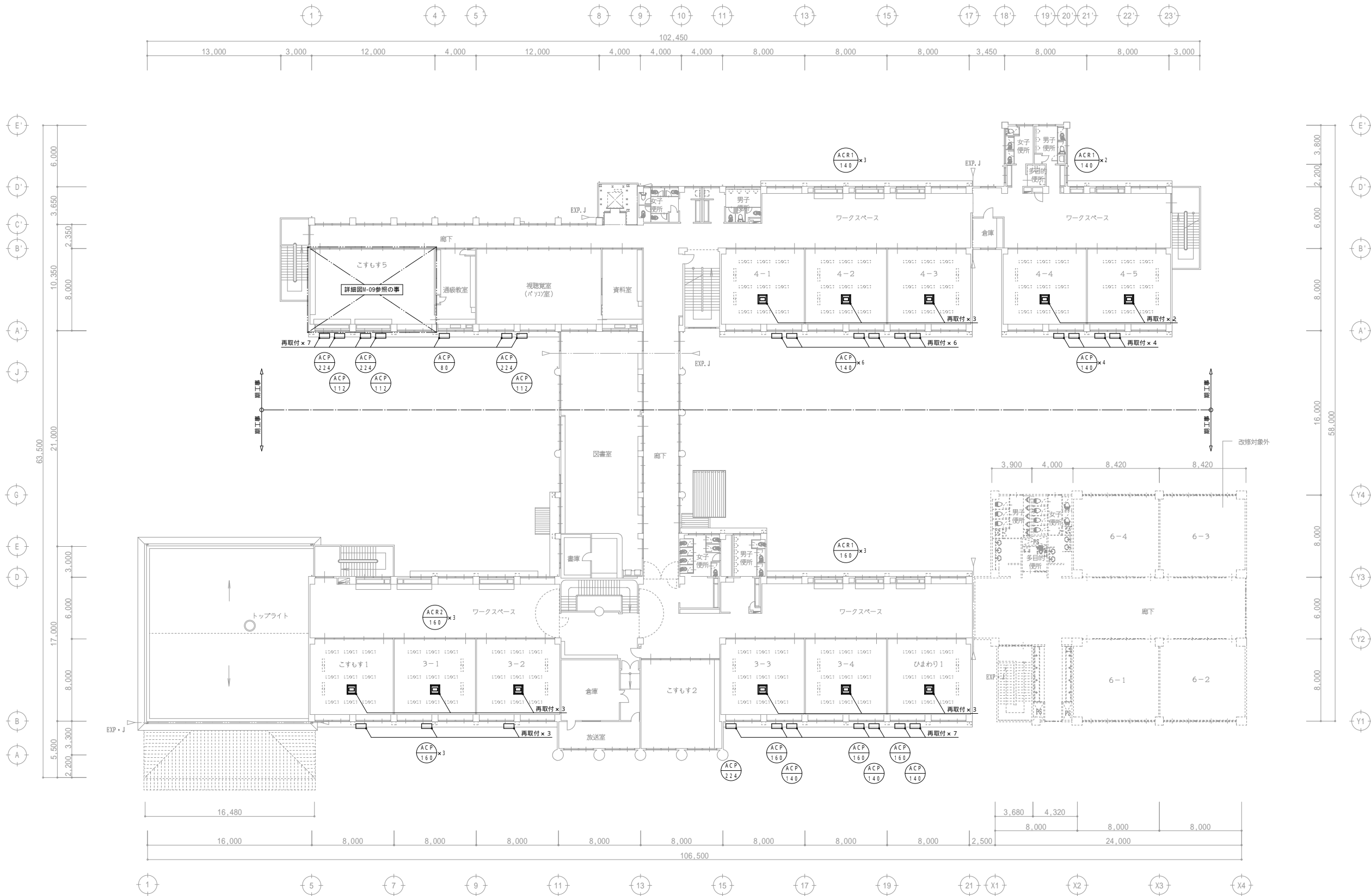
空調調和設備 改修 1階平面図

Scale

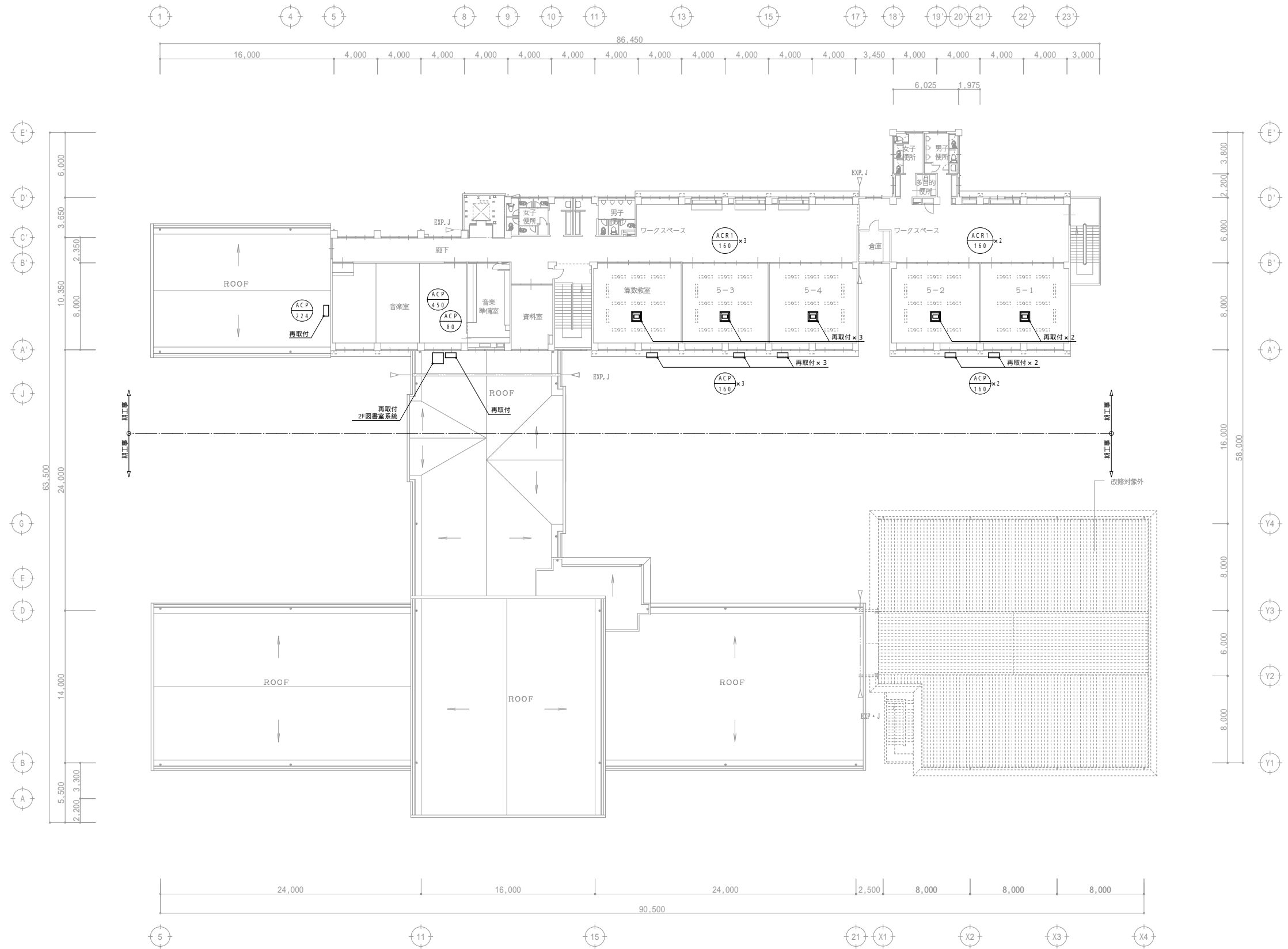
A1: 1/200
A3: 1/400

Drawing No.

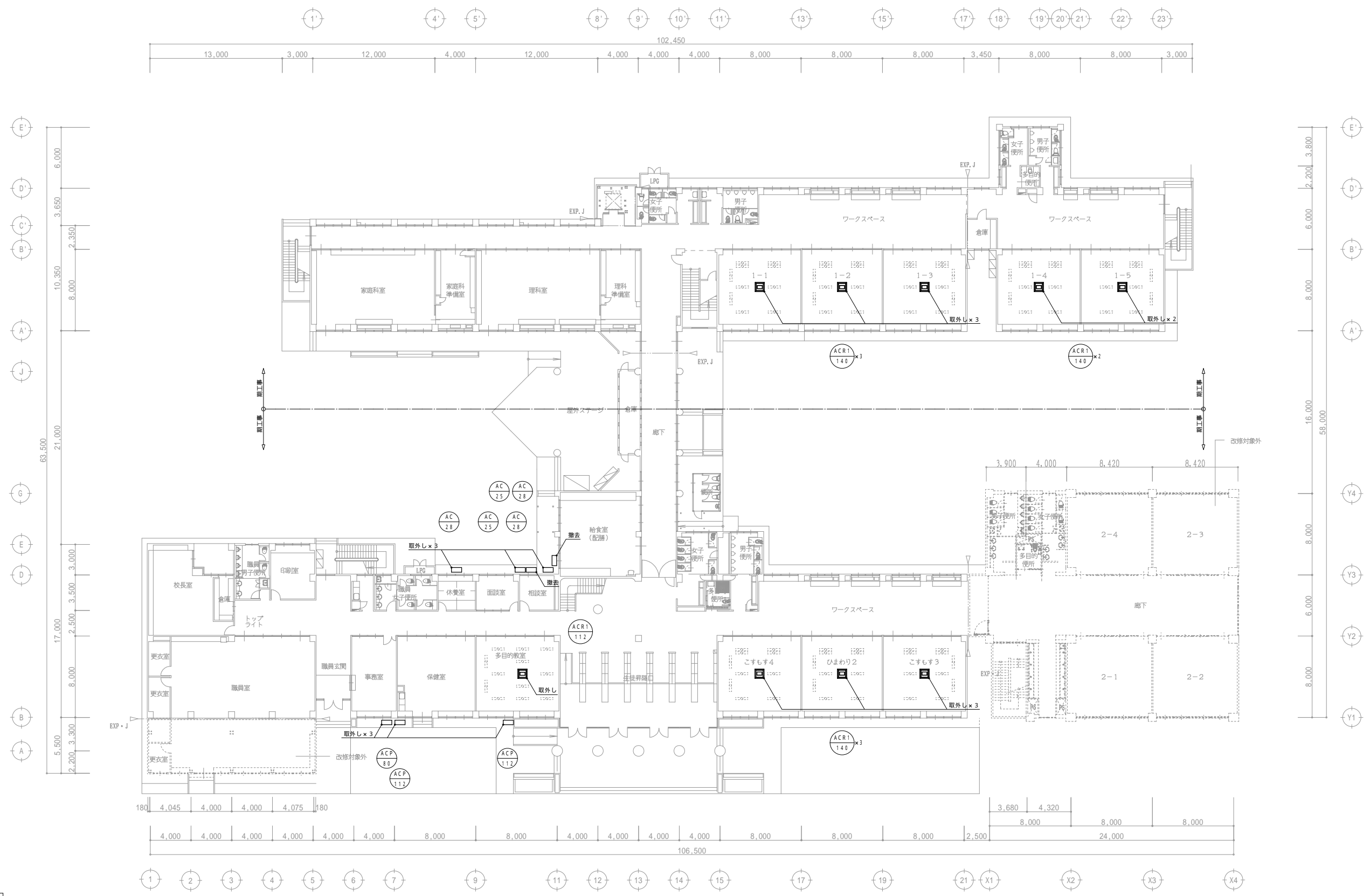
M-03



2階平面図 1/200

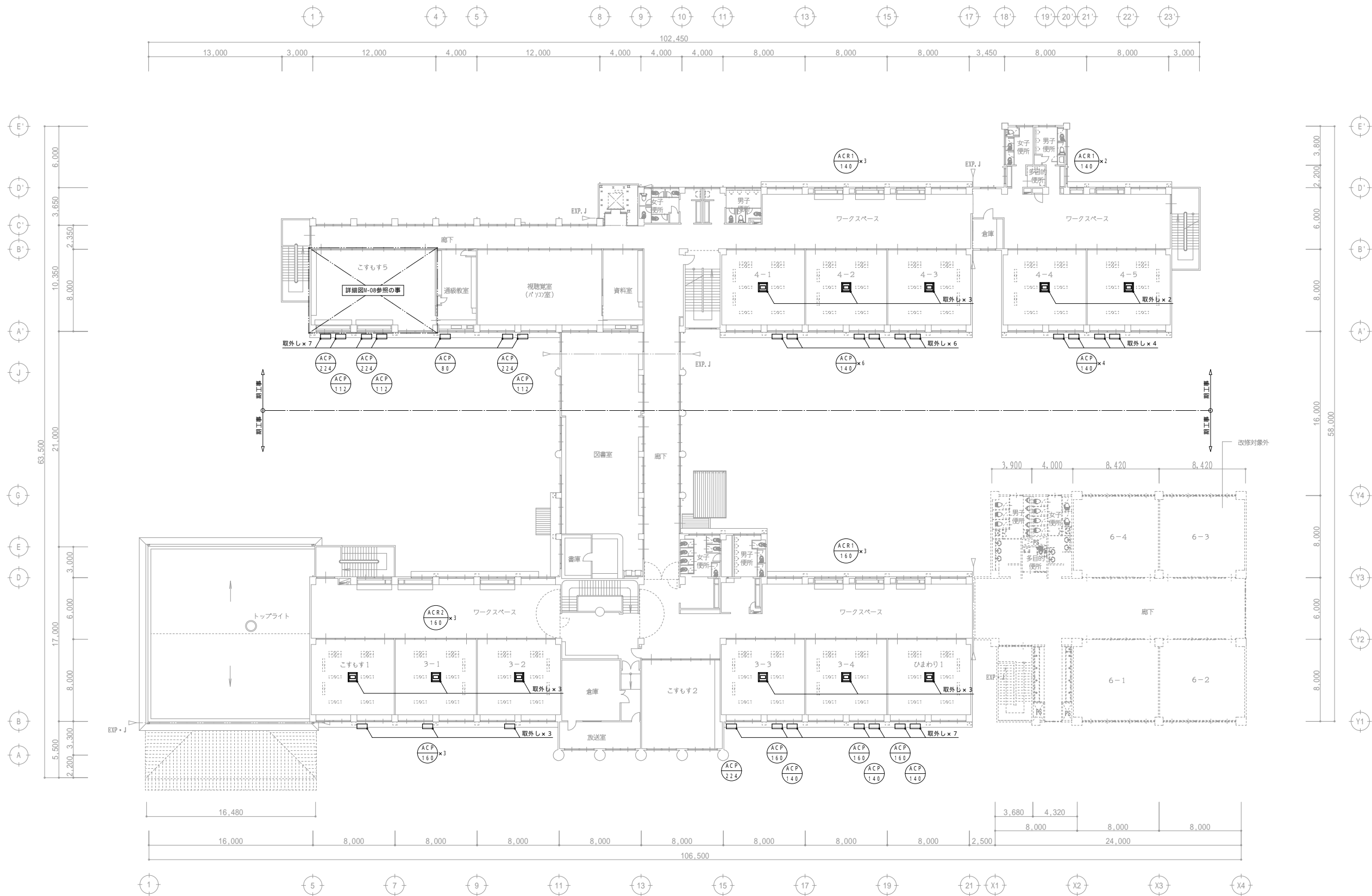


3階平面図 1/200

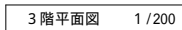


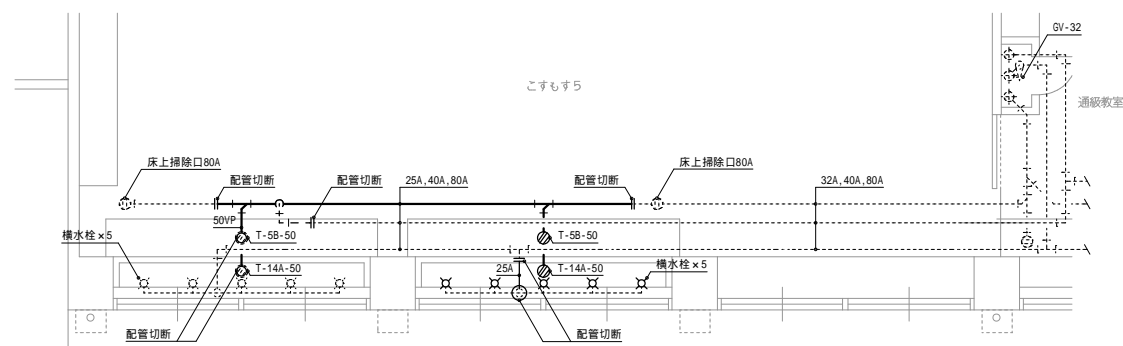
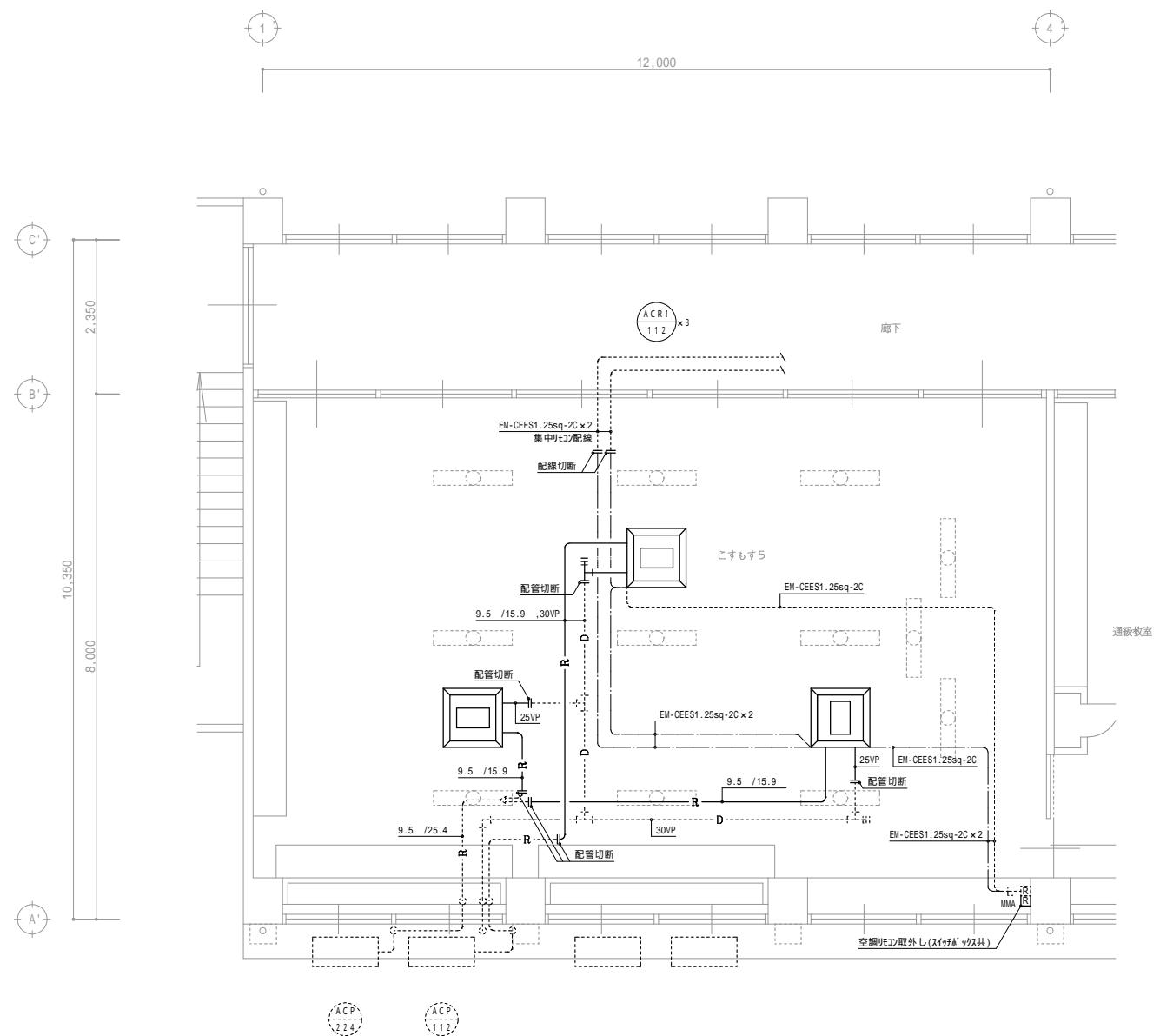
| 記号凡例 | |
|-----------|--|
| A C R 1 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室内機(天吊自在形) |
| A C R 2 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室内機 (天井埋込力セット形4方向吹出) |
| A C P | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン室外機 |
| A C | 空冷ヒートポンプルームエアコン室外機 |
| 数字は、能力を示す | |

1階平面図 1/200



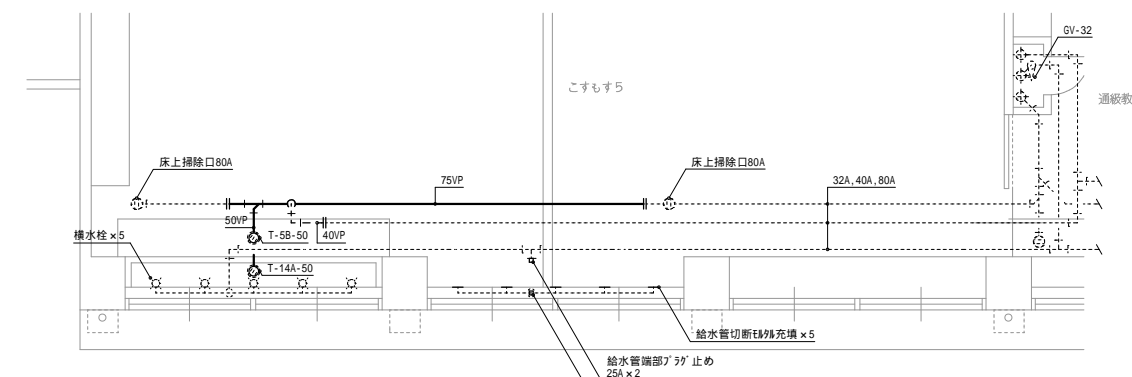
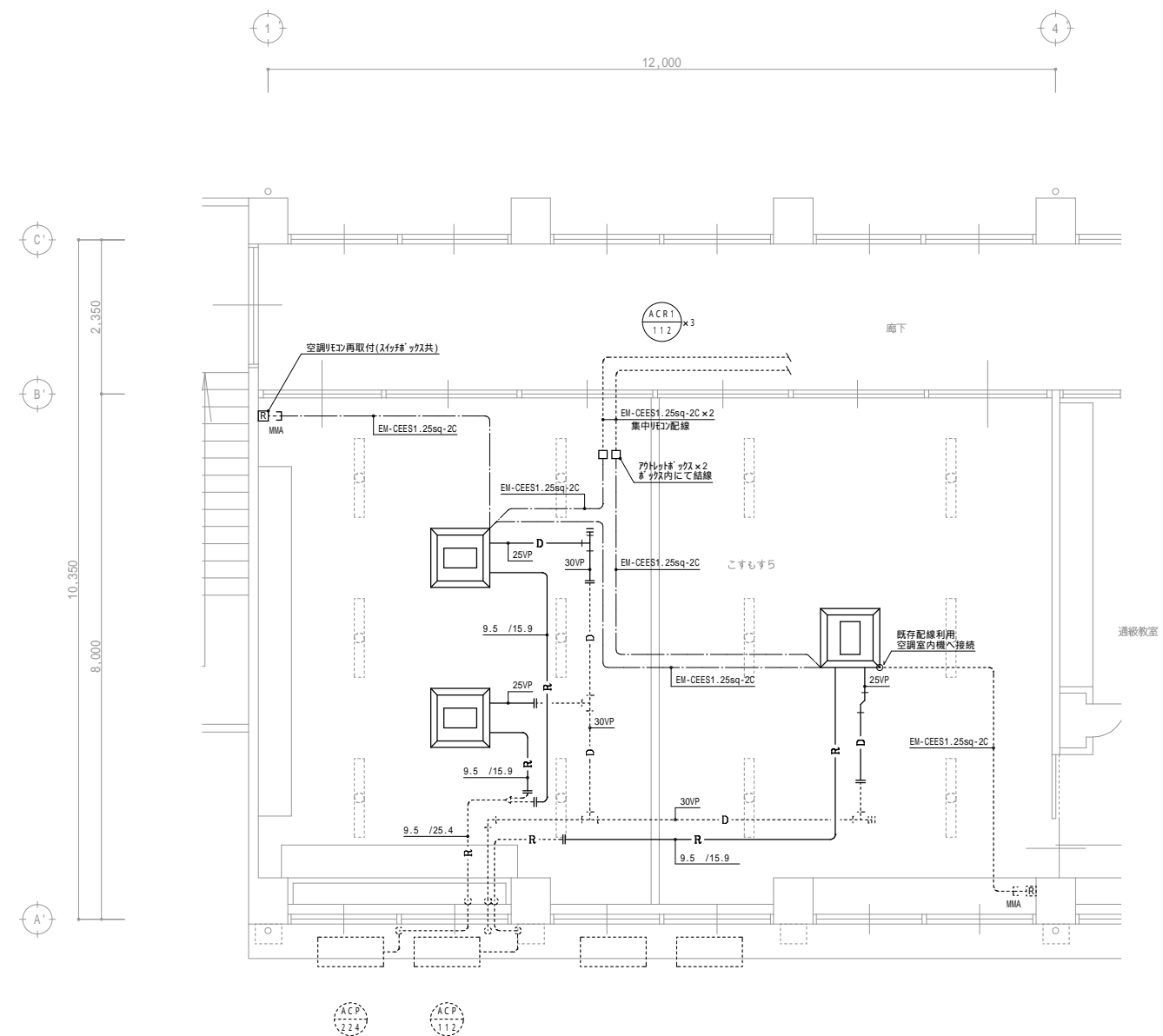
2階平面図 1/200





既存 2 階詳細図 1 / 50

注記)
・ 図中実線設備は撤去、点線設備は既存利用を示す。
・ 改修後に利用しない開口穴等のモルタル充填及び補修は本工事にて行うこと。
・ 給排水の既存配管は以下とする。
給水: タイピング 網管 / 排水: タイピング 網管 / 通気: 網管 (白)



改修 2 階詳細図 1 / 50

注記)
・ 図中実線設備は新設、点線設備は既存利用を示す。